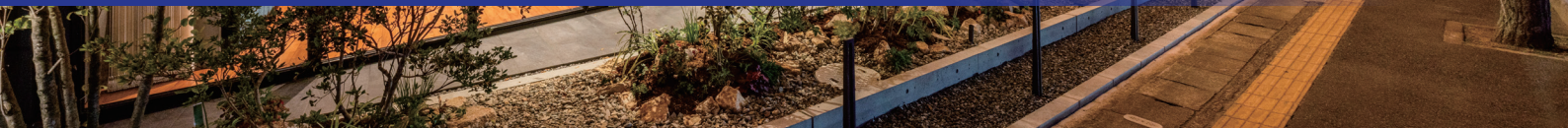




～山本さん、田部さんへのインタビューを通じて～



開発営業部 インテリアデザイン課
課長代理 永易賢一



宮地電機の照明設計を他社にはない「強み」として築いてこられたお二人のインタビューに立ち合わせていただき、大変嬉しく、そして光栄に感じています。

とりわけ印象的だったのは、お二人が昔話に花を咲かせるように、楽しそうにこれまでの歩みや思い出を語ってくださったことです。その表情や言葉の端々からは、決して平坦ではなかった道のりや照明への情熱を胸に、挑戦と学びを積み重ねてこられた姿がにじみ出ており、深い感銘を受けました。

AIの進化がさまざまな業界で注目される今、私たちの仕事にも新しい可能性が広がっています。とはいえ、光を通して人に「感動」や「楽しさ」を届けるという、感性と創造力が求められる仕事には、人にしかできない価値があります。照明設計における感性や創造力は、まさに人の心から生まれるものだと、あらためて感じました。

インタビュー中、お二人がまるで少年のような瞳で照明について語られる姿を見て、私自身も大きな刺激を受け、「この情熱を、次の世代へしっかりと受け継いでゆきたい」という思いを、さらに強く抱きました。

これからも私たちは、宮地電機の「強み」である照明設計に磨きをかけ、新たなチャレンジを重ねてゆきます。それと同時に、これまで先輩方が築いてきた技術と想いを、次の世代へしっかりと引き継いでいくことにも力を注いでまいります。

10年後、20年後、そしてその先の未来に向けて、私たちが大切にしてきた「光への想い」と「技術の力」を、確かな形で未来へつなげてゆきたいと考えています。

開発営業部 インテリアデザイン課
課長 岩永哲郎



会社が商売をする以上、何らかの「強み」が必要で、他社には真似できない武器が経営資源となります。

彌典前会長が照明事業を立ち上げ、この使命に並々ならぬ決意と覚悟を持って、何十年も挑戦を続けた先輩達がありました。彼らは、様々な人と出会い、議論と研鑽を重ねて、時には壁に道を塞がれながらも、楽しみながら仕事を続けてこられました。その努力は、市場に影響を及ぼし、当社の「強み」を形成してくれました。敬意と感謝しかありません。我々は、これほど努力しているでしょうか。

時代と共に、市場のニーズも変化し、ビジネスチャンスも多種多様に展開されるようになりました。さらなる専門性も求められる状況に、先輩達が残してくれた「強み」を進化、変容させなければなりません。会社のためだけでなく、働く皆さん各々の人生を豊かにするためにも、これまで以上に「強み」を身につけたいと考えます。

照明制御やインテリアデザイン、エネルギーマネジメントなど、取り組めるチャンスは沢山あります。このチャンスに覚悟を持って取り組み、一人一人が何らかの「強み」を身につけられる会社を目指したいと決意を新たにしました。

